

生体情報モニタシステム保守業務仕様書

この仕様書は、生体情報モニタシステム保守業務（以下「委託業務」という。）の概要を示すものであって、ここに記載されていない細部の事項については、委託者と受託者が協議して決定する。

1 保守対象期間 納入日から 72 か月（1 年間の無償保証期間を含む）

2 委託業務の対象機器

| | |
|-----------|------|
| セントラルモニタ | 12 台 |
| ベッドサイドモニタ | 20 台 |

3 保守内容

①サポートサービス

- ・委託者からのシステムのトラブル・問い合わせに対する対応を実施すること。
- ・コール受付時間は、24 時間対応可能であること。
- ・システムに障害が生じた場合は、迅速に委託者と情報共有をし、対応を検討すること。

②定期点検

受託者は、対象システム及びモニタを常に良好な状態に保つため、年 1 回定期的に専門技術員を派遣し定期点検表に基づく点検・調整及び部品交換を行うものとする。点検時期は委託者と受託者が協議のうえ決定するものとする。

以下の主な点検項目を満たすこと

- ・清掃：汚染汚濁の確認
- ・外観点検：傷、割れ、変形、破損、断線等の確認
- ・電源点検：電源スイッチ部、ON/OFF 動作等の確認
- ・性能・表示・操作・記録などの点検
 - 各パラメータの動作確認
 - 波形・数値表示の確認
 - タッチパネル動作の確認
 - アラーム表示・アラーム音の確認
 - 記録動作の確認
 - 受信状態の動作確認
- ・定期部品交換の確認・実施

なお、定期点検には、セントラルモニタで全ての送信機からの波形受信の点検を含むものとする。

③随時対応保守

受託者は、定期点検のほか不時の故障時等、委託者から要請があった時は、速やかに専門技術員を派遣し、監督員の指示に従い必要な点検、修理等を行うものとする。

4 保守の範囲

次の各項にあげるものは、保守の対象外とする。

- ①天災地変等両者の責に帰することのできない原因により生じた修復。
- ②受託者が指定する者以外による改造、修理等を行ったことに起因する修復作業。
- ③故障の原因が本装置以外の修復作業。

5 負担区分

- ①保守業務に使用する電力、給水、給湯、ガス等は、委託者の負担とする。
- ②点検して修理（部品交換）が発生した場合の部品は、委託者の負担とする。

6 守秘義務

専門技術員は、職務上知り得た委託者の秘密については、他に漏らしてはならない。

7 報告書の提出

定期点検終了後は、報告書(委託者の認めた様式)を作成し、紙と電子データで提出すること。
緊急点検を実施した場合も同様とする。

8 その他

- ①受託者は、専門技術員に専用の作業服を着用させ、名札を付けるなど他の者と誤解されぬよう配慮すること。
- ②火気の使用にあたっては、特に注意をすること。